



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月22日

上場会社名 石塚硝子株式会社 上場取引所 東証・名証第一部  
 コード番号 5204 URL <http://www.ishizuka.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 久継  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部財務部長 (氏名) 北山 聡 (TEL) (0587) 37-2111  
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月31日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績（平成26年3月21日～平成26年9月20日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	31,487	1.2	455	△48.7	387	△48.2	△1,568	—
26年3月期第2四半期	31,124	4.6	889	15.7	748	57.5	450	228.1

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △1,084百万円 (—) 26年3月期第2四半期 901百万円 (639.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	△44 78	—
26年3月期第2四半期	12 85	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	77,889	18,773	20.9	464 29
26年3月期	72,438	20,083	24.2	499 80

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 16,260百万円 26年3月期 17,506百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3 00	3 00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	0 00	0 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年3月21日～平成27年3月20日）

(%表示は、通期は対前期)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	60,500	2.5	350	△65.6	50	△93.4	0	△100.0	0 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	36,295,543株	26年3月期	36,295,543株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	1,272,306株	26年3月期	1,268,973株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	35,025,580株	26年3月期2Q	35,031,227株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関連する事項は〔添付資料〕3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響を受けつつも、政府の経済政策や日銀の金融緩和を背景に、企業収益や雇用情勢の改善がみられました。一方で、円安による原燃料を始めとする輸入諸資材価格の高騰など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは今後も厳しい経営環境にあることを認識し、当期を2年目とする3ヶ年計画として、「石塚硝子グループ中期経営計画」(勝ち残るために～ISHIZUKA '81)の達成に向け、『経営基盤の強化』に取り組んでまいりました。

売上高につきましては、びん・紙容器の売上が減少したものの、PETボトル用プリフォームが順調に伸長し、グループ全体の売上高は31,487百万円(前年同四半期比1.2%増)となりました。利益につきましては、LNG・電力価格の高止まりや、輸入諸資材価格の高騰、さらには販売価格は正の遅れもあり、営業利益は455百万円(前年同四半期比48.7%減)、経常利益は387百万円(前年同四半期比48.2%減)となりました。また、平成26年10月22日開催の取締役会において、連結子会社である亞德利玻璃(珠海)有限公司及び石塚玻璃(香港)有限公司は、人件費の上昇や円安の進行など、現在の厳しい経営環境のなか事業継続は困難であると判断し、同2社を解散することを決議いたしました。その結果、同2社の保有する固定資産の減損損失等の関係会社整理損1,699百万円を特別損失として計上したことにより、1,568百万円の四半期純損失(前年同四半期は450百万円の四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## ① ガラスびん関連

ガラスびんは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動と夏場の天候不順からビールびんや飲料水びんの出荷が落ち込み、売上高は8,911百万円(前年同四半期比7.3%減)となりました。

## ② ハウスウェア関連

ハウスウェアは、中東向けの輸出が再開し出荷を伸ばしたほか、企業向け大口景品の受注を獲得し、売上高は5,001百万円(前年同四半期比7.8%増)となりました。

## ③ 紙容器関連

紙容器は、積極的な拡販活動により新規受注の獲得があったものの、既存ユーザーへの売上が伸び悩み、売上高は4,166百万円(前年同四半期比2.7%減)となりました。

## ④ プラスチック容器関連

プラスチック容器は、大手ユーザーからの新製品向けPETボトル用プリフォームの受注と新規顧客の獲得などにより、売上高は11,559百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

## ⑤ その他

抗菌剤は新規海外顧客の獲得など販路を順調に拡大でき、さらに円安を背景に北米向けの出荷も伸長しました。また、金属キャップ等の出荷も増加し、売上高は1,847百万円(前年同四半期比11.2%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ484百万円減少し、1,899百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は、651百万円(前年同四半期は1,098百万円の資金増加)となりました。資金増加の主な要因は、仕入債務の増加及び未払費用の増加等によるものです。

一方、資金減少の主な要因は、売上債権の増加及びたな卸資産の増加等によるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、2,150百万円(前年同四半期は1,742百万円の資金減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果増加した資金は、2,302百万円(前年同四半期は522百万円の資金増加)となりました。これは主に、長期借入れによる収入、短期借入金の純増加額、長期借入金の返済による支出及び社債の償還による支出によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年7月23日に、平成27年3月期第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想を公表しましたが、上記(1)に記載の当第2四半期連結累計期間の経営成績より、前回発表時の業績予想を修正いたします。なお、詳細は「平成27年3月期第2四半期連結累計期間の連結業績予想と実績との差異及び通期連結業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、第1四半期連結会計期間より、北洋硝子株式会社は重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

また、当第2四半期連結会計期間より、遠東石塚グリーンペット株式会社は重要性が増加したため、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 追加情報

重要な引当金の計上基準

関係会社整理損失引当金

関係会社の整理に伴い発生が見込まれる損失に備えるため、当該損失見込額を計上しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,534	2,149
受取手形及び売掛金	10,421	13,148
有価証券	100	100
商品及び製品	11,353	12,080
仕掛品	283	246
原材料及び貯蔵品	3,556	4,051
その他	1,353	3,200
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	29,596	34,973
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,729	7,945
機械装置及び運搬具(純額)	9,490	8,618
土地	13,331	13,492
その他(純額)	4,116	4,259
有形固定資産合計	34,666	34,315
無形固定資産	34	34
投資その他の資産		
投資有価証券	6,895	7,616
その他	1,195	897
貸倒引当金	△37	△29
投資その他の資産合計	8,053	8,484
固定資産合計	42,754	42,834
繰延資産	87	81
資産合計	72,438	77,889

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月20日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,570	6,418
短期借入金	14,032	17,015
1年内償還予定の社債	1,743	4,115
未払法人税等	273	160
賞与引当金	510	544
関係会社整理損失引当金	—	141
その他	4,120	5,874
流動負債合計	26,251	34,269
固定負債		
社債	5,327	2,831
長期借入金	11,038	11,093
退職給付引当金	3,813	3,847
役員退職慰労引当金	26	27
汚染負荷量引当金	492	476
関係会社整理損失引当金	—	40
その他	5,404	6,531
固定負債合計	26,103	24,847
負債合計	52,355	59,116
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,911	5,911
資本剰余金	4,149	4,149
利益剰余金	903	△789
自己株式	△285	△286
株主資本合計	10,678	8,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,805	2,387
繰延ヘッジ損益	△41	54
土地再評価差額金	4,919	4,919
為替換算調整勘定	144	△85
その他の包括利益累計額合計	6,827	7,275
少数株主持分	2,577	2,512
純資産合計	20,083	18,773
負債純資産合計	72,438	77,889

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)
売上高	31,124	31,487
売上原価	25,920	26,604
売上総利益	5,204	4,882
販売費及び一般管理費	4,315	4,426
営業利益	889	455
営業外収益		
受取利息	6	5
受取配当金	75	79
受取賃貸料	47	77
為替差益	12	108
その他	49	65
営業外収益合計	190	337
営業外費用		
支払利息	239	240
持分法による投資損失	—	27
その他	91	138
営業外費用合計	331	405
経常利益	748	387
特別利益		
投資有価証券売却益	285	—
特別利益合計	285	—
特別損失		
固定資産除却損	265	—
関係会社整理損	—	1,699
特別損失合計	265	1,699
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	768	△1,312
法人税、住民税及び事業税	252	182
法人税等調整額	△2	28
法人税等合計	249	210
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	519	△1,522
少数株主利益	68	45
四半期純利益又は四半期純損失(△)	450	△1,568



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	519	△1,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	324	566
繰延ヘッジ損益	△193	102
為替換算調整勘定	251	△230
その他の包括利益合計	382	438
四半期包括利益	901	△1,084
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	757	△1,120
少数株主に係る四半期包括利益	144	36

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月21日 至 平成25年9月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月21日 至 平成26年9月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	768	△1,312
減価償却費	1,961	1,913
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24	△8
賞与引当金の増減額(△は減少)	45	31
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△33	26
汚染負荷量引当金の増減額(△は減少)	△17	△16
受取利息及び受取配当金	△82	△85
支払利息	239	240
為替差損益(△は益)	△12	△136
持分法による投資損益(△は益)	—	27
有形及び無形固定資産除売却損益(△は益)	277	8
投資有価証券売却損益(△は益)	△287	—
関係会社整理損	—	1,699
売上債権の増減額(△は増加)	△1,182	△2,801
たな卸資産の増減額(△は増加)	△125	△1,164
未収入金の増減額(△は増加)	△118	△351
前渡金の増減額(△は増加)	23	△28
仕入債務の増減額(△は減少)	617	879
割引手形の増減額(△は減少)	△544	14
未払費用の増減額(△は減少)	87	593
その他	△182	238
小計	1,412	△231
利息及び配当金の受取額	80	84
利息の支払額	△250	△236
法人税等の支払額	△144	△268
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,098	△651
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△150
有形固定資産の取得による支出	△1,773	△2,028
有形固定資産の売却による収入	0	1
投資有価証券の取得による支出	△16	△64
投資有価証券の売却による収入	345	—
関係会社株式の取得による支出	△270	—
貸付けによる支出	△13	△1
貸付金の回収による収入	5	80
その他	△20	11
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,742	△2,150
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,360	1,630
長期借入れによる収入	4,800	3,050
長期借入金の返済による支出	△1,379	△1,685
社債の発行による収入	537	783
社債の償還による支出	△1,701	△924
リース債務の返済による支出	△260	△330
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△105	△105
少数株主への配当金の支払額	△7	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	522	2,302
現金及び現金同等物に係る換算差額	95	△14
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△26	△514
現金及び現金同等物の期首残高	1,626	2,384
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	—	29
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,600	1,899

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	ガラス びん関連	ハウスウ ェア関連	紙容器 関連	プラスチ ック容器 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,608	4,638	4,284	10,931	29,463	1,661	31,124	—	31,124
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	11	—	331	343	2,746	3,089	△3,089	—
計	9,609	4,649	4,284	11,262	29,806	4,407	34,213	△3,089	31,124
セグメント利益又は損 失(△)	119	△55	172	632	868	13	882	7	889

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額7百万円には、セグメント間取引消去0百万円、たな卸資産の調整額6百万円、その他△0百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月21日 至平成26年9月20日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注3)
	ガラス びん関連	ハウスウ ェア関連	紙容器 関連	プラスチ ック容器 関連	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,911	5,001	4,166	11,559	29,639	1,847	31,487	—	31,487
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	11	—	358	370	2,755	3,125	△3,125	—
計	8,911	5,013	4,166	11,918	30,010	4,602	34,612	△3,125	31,487
セグメント利益又は損 失(△)	△155	△193	117	642	411	45	456	△1	455

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、当社及び子会社の一部の事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1百万円には、セグメント間取引消去0百万円、たな卸資産の調整額△1百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ハウスウェア関連」セグメントにおいて、連結子会社の解散を決議したことに伴い、所有している固定資産の帳簿価額を回収可能額まで減額し、減損損失を特別損失に計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間において1,505百万円であります。